



# まきば通信

第8号

日本基督教団  
 愛知老人コミュニティセンター  
 〒470-0111 日進市米野木町南山987-88  
 TEL. 0561-74-5548  
 FAX. 0561-74-5561  
 ホームページ <http://www.mb.ccnw.ne.jp/makiba>  
 E-mail [makiba@mb.ccnw.ne.jp](mailto:makiba@mb.ccnw.ne.jp)  
 発行日 2005年12月13日  
 発行人 鈴木 卓也  
 イラスト 大島 耕一

## 念願の増築、いよいよ着工!

「まきば」理事長 篠田 潔

「まきば」は自立の老人施設として発足しました。設立前から、自立できなくなった場合の対応をどうするかについての危惧もありましたが、すぐ前にある愛知国際病院への入院等によって対処するというところで出発しました。事実その後、同病院の御協力を得て入居者の病気治療や健康管理が良く計られています。介護を要する方が次第に増えて参りまして、自立を前提としての建物では対応し切れなくなってきました。

こういう事情に即して、数年前から、介護用の建物を併設したいと願っていましたが、資金面でその意を果たせないうところ、思いがけず、有志の方から、匿名での資金提供のお申し出をいただきました。奇跡が起こったに近い思いを禁じ得ませんでした。

これによって、隣接地に、介護度の高い方の起居に適した6室と介護のためのナースセンター、特別浴室、リハビリコーナーなど介護のための総合施設と、かねてから必要を覚えていた全員が集まれる礼拝その他に使用出来る集会室や、そのほか現施設では使い勝手の不便の補いを含めた建物の増築と、現施設の若干の改造をすることが出来るようになりました。既に詳細設計も済んでおり、諸手続きを経て来春には着工予定です。土地購入を含めて2億円の予算を立てております。

入居者の高齢化に伴う「まきば」運営の将来について、かねてからお心にかけていただいた皆様にも、以上のような事情によって、ことがわたくし共の思いを超えて運ばれていることを知っていただいて、感謝と、これからの進行への御加禱を共にしていただきたく願ひまして、以上の報告をさせていただきました。

中部教区が主の名によって始めたこの事業の、将来の自立を目指しての歩みが、尚一層主の祝福と導きの下に進められるよう、今後とも御加禱御支援下さいますよう心からお願いいたします。

増築の設計について … 2~3

秋の行楽  
 中部国際空港「セントレア」 …… 4

俳句・短歌 …… 5

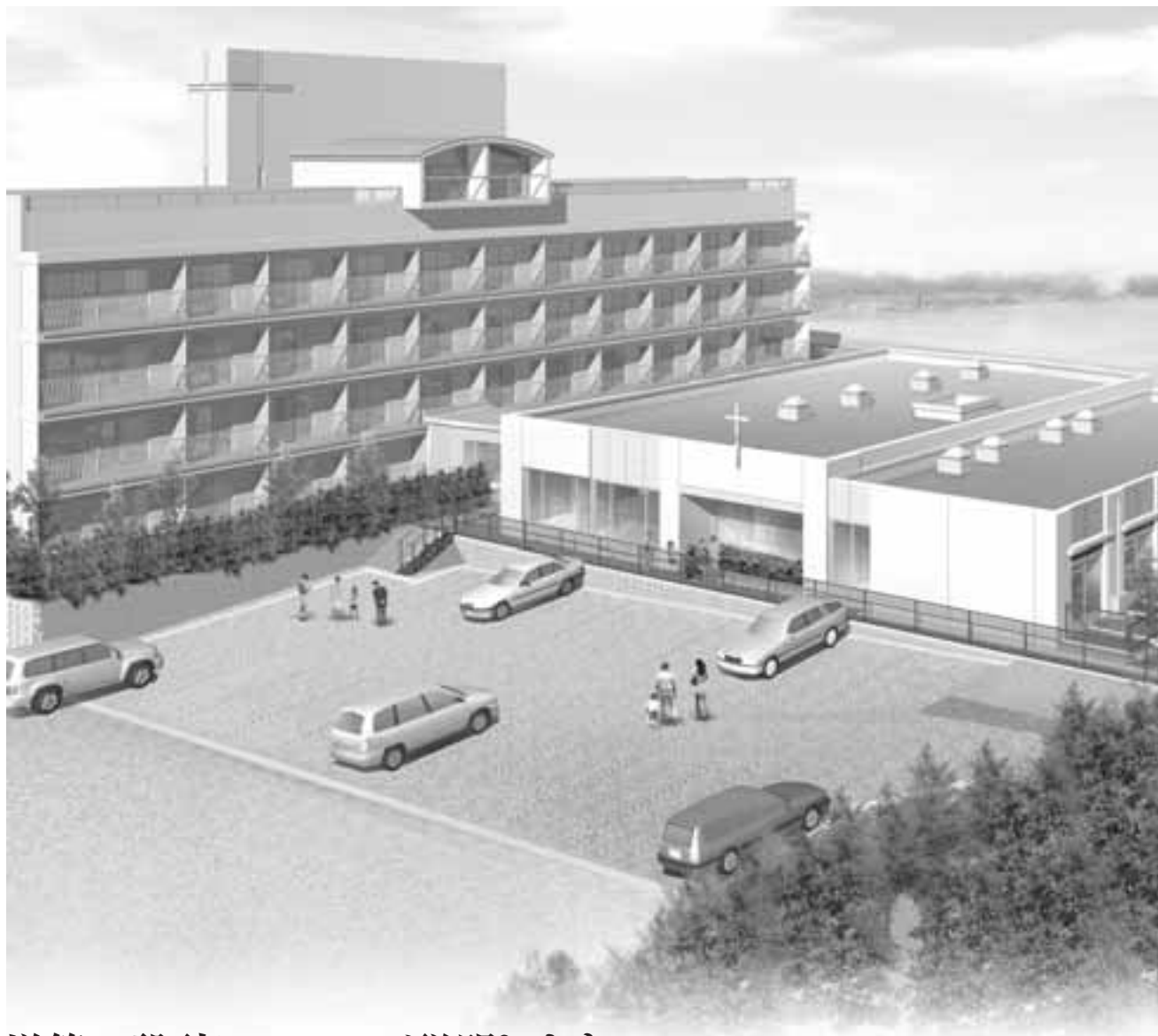
「星は招く」  
 真山 光彌 …… 6

●  
 介護保険の動向について  
 理事 小中 健次 …… 7

施設長の「まきば」報告  
 館長・施設長 鈴木 卓也 …… 7



## 「まきば」増築



### 増築の設計についてご説明します。

設計が完了し、いよいよ新しい建物のイメージができてきました。  
ここに、この建築の概要を説明します。

#### 設計のコンセプト

より安全でやさしい介護ができる施設を目指します。  
光をふんだんに取り込み、明るい施設とします。  
広い共用スペースが日常の暮らしに潤いをもたらします。  
新館と本館の両方で一つの施設となるように、一体感を大切にします。



## 概要

増築部敷地面積 …… 1162m<sup>2</sup> (約352坪)

増築部建築面積 …… 600m<sup>2</sup> (約181坪)

竣工予定 …… 2006年12月

構 造 …… 鉄筋コンクリート

## 新館の特徴

- 本館に暮らしておられる方にも十分な日当たりが確保されるように、また介護が必要な方にもやさしく、南側の新館は平屋としました。一般居室も介護居室も全室南向きになります。介護居室のベランダは縦長に配置して、起きあがれなくなってもベッドごと日向ぼっこに出られるよう工夫しました。また、プライバシーにも充分配慮した設計になりました。
- 介護居室を従来の個室と同じ広さにして、介護が必要になっても追加入居金なしで住み替えができるよう配慮しました。
- 看護・介護ステーションを建物の中心に配置し、ナースコールを押せばすぐに駆けつけられるレイアウトになっています。
- グループホームやユニットケアにならないよう、特に配慮しました。有料老人ホームはあくまでもご自分の居室が自宅であり、本館も含めたホーム全体の中で、今まで通りの人間関係を維持しつつ楽しく社会生活ができることを第一に設計しました。
- 祈りたくなった時にはいつでも静かにお祈りができるように、聖書の学びや少人数での礼拝ができるように、小さな礼拝室をつくりました。また、会議や趣味の集いにも使える多目的室を隣接、礼拝室と二つの多目的室の間仕切りを開放すると全員での集会やクリスマス礼拝も可能です。
- 御家族やお客様にも気軽に宿泊していただけるように、ゲストルームを確保しました。
- 建物のまわりをゆっくり安全に散歩していただけるように、ゴムチップを使った柔らかくてフラットな遊歩道を用意しました。



# 秋の行楽 10月24日 中部国際空港『セントレア』

秋の晴天に恵まれ、ご入居者の皆様13人と6人の職員が中部国際空港へ行ってきました。出発からにぎやかなバスにゆられて約1時間のドライブ。到着した『セントレア』も、開港当時の凄まじい混雑から解放されていて、程よい人出の中で楽しむことができました。

屋上展望デッキに上って飛び立つ飛行機と記念写真を撮ったり、ショッピングを楽しんだり、自由に時間を過ごした後、滑走路が一望できるレストランや思い思いの有名店で自由に昼食を取り、皆様それぞれの楽しみ方でゆっくり1日を過ごすことができました。



▲ 展望デッキに上がって、記念写真



▲ 滑走路が一望できるレストラン「クィーン・アリス」にて



▲ ショッピングを終えて、ロビーで一休み



▲ 空港レストランにて、中国料理に舌づつみ

「俳句・短歌」

〈俳句〉



手習ひの 筆揃き 眺む 乱れ萩

山下 比奈子

わが心 揺るがじ 萩の 揺れ咲けど

石原 信良

一つ覚え 二つ忘れる 秋七草

山内 義盛

ふるさとの 土産に 秋の 七草を

大谷 多可子

蛸が 鳴き出し 今日 始まれり

松井 真

秋七草 名を知り 花も 好きになり

藤高 好子

撫子や 低きに咲きて 可憐なり

浅野 み柘

白桔梗 好みし 母の 供花とせり

富田 きよ子

奥の院 仰ぐ 磴あり 葛の花

朝倉 和代

モノの絵に見入る 画廊や 夕涼し

城崎 幸子

児のポケ 蝉の脱け殻 二つ三つ

伊藤 好子

移りゆく 世を 知らずなり 藤袴

富田 晏弘

バス停の 手桶の桔梗 すがすがし

井上 和子

ホスピスの 夜々鳴き尽す きりぎりす

森 枝葉子

時雨来て おろす暖簾や 嵯峨豆腐

安井 照男

〈短歌〉



吹き荒れし 夜半の嵐の過ぎ去りて 朝玲瓏の 青堂をみる

後藤 正子

ミサ曲の 流るザビエル天主堂 座してやすらぎ ステンドグラス

中村 婦佐

床暖房の 煙ぼうすく たな引きて 高梁を焚く 白漂う

森島 利定

# 『星は招く』

隠退教師 眞山 光彌

東方の博士たちが星に招かれ導かれ、幼子イエスに出会って礼拝したというクリスマス物語は、よく知られています。

星に招かれ導かれるのは、東方の博士たちだけではありません。私たち、私もそうでした。神学校の卒業式が近づくにつれ、級友の多くは任地が次々と決まっていきました。しかし、1954(昭和29)年3月になっても、私の任地は決まっていませんでした。

当時、吉祥寺教会の聖書研究祈禱会に出席していた数名の神学生たちは、午後9時過ぎ三鷹市牟礼にあった寮への帰路、讃美歌を歌い、話し合いながら井の頭公園を横切るのが常でした。当時、満天の星空の中で、ひときわ目立って輝いていたのが、「冬の星座」オリオン座でした。

当時の神学生の夢は、一日も早く神学校を卒業して伝道の第一線に立つことでした。任地は個人が選ぶのではなく、学長が「行け」と言われた地を神の御旨と信じ、派遣されました。

任地の決まらない私は、いつものようにオリオン座を見上げながら心の中で祈りました。「神よ、任地を与え給え」と。そして決まったのが卒業式の10日前でした。西中国教区の岩国東教会でした。

以後、オリオン座を見上げるごとに、若き日に伝道者として召された当時を思い出し、厳粛な思いに駆られました。そしてオリオン座は、私にとって神の招きと、召しと、導きのしるしになりました。

2004(平成16)年6月、神学校卒業50周年記念同期研修会が洞爺湖畔のホテルで開かれたとき、私は50年間の歩みを次のようにまとめました。

卒業後 主の憐れみに導かれ

五十路の務め 恵み尽きせし

この思いは、今年の3月、名古屋新生教会を辞任し、隠退した後も変わりはありません。



去る真夏のある夜明け前、自宅のベランダから遙か東方に斜めに輝く「冬の星座」オリオン座を見たとき、思いは神学生時代に遡り、聖なる召しと、与えられた恵みの数々を思い出し、神に感謝の祈りを献げました。

あの若き日々から51年、歴史は移り、時代は変わりました。しかし、神の恵みに変わりはありません。パウロはこう語っています。

「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということ、わたしたちは知っています。」  
(ローマ8:28)

このパウロの言葉は、最初の任地において体験した聖句であるだけでなく、その後、幾たびとなく体験し、私の好きな聖句の一つになりました。そして今、この聖句がわが生涯の総括となることを願っています。



# 介護保険の動向について

理事 小中 健次

介護保険が施行されてから5年が経過し改正案(詳細不明)が発表になりました。改正の大きなポイントは「介護予防サービスの導入」と「介護施設の食費・居住費の自己負担化」の二つであります。

シルバーホーム「まきば」は有料老人ホームであり特定施設入所者生活介護事業所のため食費・居住費が介護保険の対象になっていないので直接の影響はありませんでした。しかしデイサービス利用者、特別養護老人ホーム、老健等入所施設の利用者は食費・居住費の受益者負担として大幅な利用料の増加が課せられました。

現在の介護保険対象者の多くを占める要支援と要介護1の人たちの認定を見直す介護予防サービスの新制度が2006年4月よりスタートします。現行では介護保険の給付が日常生活上の自立

を損なう様なサービスが多く、このままでは状態が悪化しかねないと判断されました。

新介護予防給付の対象と認定されると本人の出来ることは出来る限り本人が行うことを基本とし運動機能、栄養改善、口腔機能の向上、アクティビティ等のプログラムの展開が求められます。「まきば」にとっては介護保険給付金の大幅な減額・介護サービスの見直し、人的配置の見直し等、大きな影響があります。



## 施設長の「まきば」報告

施設長に就任して2回目のクリスマスを迎えようとしています。神様の御守りに感謝の毎日です。新館増築も設計が完了してやっと概要が見えてきました。

新館に介護専用居室を置くに当たって一番気をつけたことは、まず安全であること、きめ細かい手厚い介護が可能なこと、介護専用居室での生活が現在の一般居室の生活の延長線上にあるように、本館も含めたホーム全体の中で今まで通り人間関係を維持しつつ楽しく生活していただけること、の3点をコンセプトに設計しました。

今回の増築が拡大再生産につながることを避け、お一人お一人の状態を施設長はじめ全従業員がいつも把握できる規模のホームであることを追いつくべく、主に仕える施設として成長させてい

館長・施設長 鈴木 卓也

ただきたいと願っています。

さらに、愛知老人コミュニティセンター本部室を設置するにあたり、ここを拠点にして、中部教区の各教会が抱える高齢者問題や適切な施設選びのアドバイス、認知症への対応方法、介護に関する質問などなど、今お困りの事柄に専門的立場からご相談に応じる奉仕ができないかと考えています。

これを機会に、皆様のお世話になるセンターから皆様のお役に立つセンターへと変身できることを願っています。「中部教区に『まきば』があって良かった」と言われる施設になることができますように、これからも引き続きお祈りください。



## 「まきば」の周辺風景 ③

### ■日本キリスト教団 南山教会 牧師 大島純男

南山教会は、愛知牧場の創設者・尾関誠一翁により、農村開拓伝道所として1947年に開設されました。翁は戦後60才にして、この牧場の開墾を始め、ほぼ同時に近隣の農村の青年たちへの伝道を志しました。その後、愛知池や東名高速道路の設置などで2度移転した後、現在の場所になりました。現在の会堂は10年前にできました。

会堂の建つ平和ヶ丘と大十字架の建つ十字ヶ丘を合わせて3000坪という恵まれた広さ、牧場の中という立地条件の良さ、名鉄豊田線の開通による近隣の住宅化など、様々な恵みの内に順調に教勢も伸び、現在は160人の現住陪餐会員、毎週の礼拝には120人前後の人が集うまでに成長しました。

毎週日曜日には、教会のバスが「まきば」へ迎えに行きます。「まきば」には現在11名の会員が生活し、

他教会所属の入居者や隠退教師も含めて「まきば」から多くの人たちが礼拝に、聖書研究・祈禱会に出席しておられます。パウロが、「たとえわたしたちの『外なる人』は衰えていくとしても、わたしたちの『内なる人』は日々新たにされていきます」(Ⅱコリ4:16)と記しているとおおり、日々新たにされているキリスト者の「まきば」の内外での良き証しが多くの人々を慰め、力づけています。

大島牧師は、毎月1回、「まきば・聖書の学び」の会で講師をしていますし、「まきば」で様々なボランティアをする会員もいます。施設長の鈴木卓也兄は、南山教会の会員です。今や「南山教会」とシルバーホーム「まきば」は、深い協力関係にあります。「まきば」が、ますます主の栄光を現すところとなりますよう、お祈りください。



▲ 南山教会



▲ 日曜礼拝



大島牧師▶

#### 献金振込先

① UFJ銀行 日進支店  
(宗)日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター  
理事長 篠田 潔  
普通口座 1162658

② 郵便振込  
日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター  
振替番号 00870-4-29934

#### 編集後記

この「まきば」通信8号が皆様のお手元に届くころ、皆様はクリスマスを迎える喜ばしい日々をお過ごしのことと思います。微力ながら編集に携わっていて思うことは、私たちの思いを遥かに超えた主のお導きがいつも私たちの行く先を示し、また押し出しているということです。

この8号で皆様にお知らせしたいことは、「まきば」に新館(介護専用施設)ができるということです。「まきば」設立当初からの願いであったものが、主が備えてくださったまさにこの時に与えられるのです。「まきば」が主によって祝福されて、用いられていることを心から感謝します。皆様もどうぞこの施設の一人一人の感じている喜びを共に喜んでください。そして完成の日には共に祝ってくださいますよう、願います。

「まきば」9号をお楽しみに！(長田)

